

経営改善計画策定支援事業に係る 支援機関相互の連携強化について

平成28年9月2日、認定支援機関等情報交換会が開催され、浅野先生からはTKC会計人が行う中小企業支援実務と題してお話頂きました。また中小企業再生支援全国本部の福島様より金融機関と税理士の連携による中小企業支援についてと題してご講義頂きました。会場には**総勢160名**を超える行政機関・金融機関・税理士先生が参加され、熱心に受講されておりました。

TKC会計人が行う中小企業支援実務 ～認定支援機関であるTKC会計人が果たす役割～



TKC中部会 中小企業支援委員会
委員長 浅野雅大

認定支援機関としてスキルアップ と外部機関との連携強化を！

認定支援機関制度は経営支援の担い手として**税理士に期待が寄せられている**ということです。その期待に今応えなければ、**せっかく広がった私たちの職域はまた狭められるでしょう**。FinTechの追い風を活かして金融機関との連携を一層強固なものとするとともに、最新の中小企業支援施策を駆使して、**地域で頼られる支援機関**となって頂きたい！

TKC会計人は信頼ある決算書 で融資のバックアップを！

TKCモニタリング情報サービスが10月から始まります。TKC会員事務所は**月次巡回監査**を実施し、**自計化**に取り組んでいますので早く数値を掴む仕組みが出来ています。今後、経営改善支援業務が会計事務所の主要業務になっていきます。TKC会計人は金融機関と連携し、**信頼ある決算書**で融資のバックアップができるよう活動して参りましょう。



TKC中部会 会長
杉山美智晴

金融機関と税理士の連携による 中小企業支援について

～新たな地域密着型ビジネスモデルの構築～

経営改善計画策定のベースは適時適正な会計 と透明性の高い決算書です。

無借金会社以外は全て対象です。財務上の問題を抱えている中小企業というのが唯一の条件です。利用申請段階で税理士と金融機関が方向性をしっかり話し合ってください。また経営改善計画を提出する企業は自ら**前向きに事業の課題に取り組んでいると評価**されます。**PDCAサイクル**を回して三者が共有することが重要です。



中小企業再生支援全国本部
福島 健人 様

～認定支援機関制度は地域密着型ビジネスモデルを目指す！～

7000PJスタート前の認定支援機関制度の現状(過去)

中小企業経営力強化支援法
認定支援機関は最初税理士に担って頂く。(専門性の高い支援事業)
予算405億円・目標2万件 → **現状利用申請2,254件、支払申請484件**

7000PJについて(現在)

上記制度の活用が進まない現状を踏まえ、企業数減少に歯止めをかけ、経済の活性化を図るため、税理士が申告業務だけでなく、経営指導を通じて関与先の黒字化に貢献するため7000PJ発足。→ **現状 連携取れてきた。**

認定支援機関制度の目指すべき姿とは(未来)

金融機関のメリット、企業のメリット、税理士のメリットでそれぞれの溝を埋め、**新たな地域密着型ビジネスモデルを構築**することが今後の目指すべく姿。



各機関が企業支援に本気 になって入り込む！

金融機関としては赤字や債務超過でも融資は可能。**将来ビジョン、キャッシュフロー、事業内容の把握が条件**。このシステムは**TKCとしてチャンス**。保証協会と連携できる

きっかけにもなった。**現在保証協会を動かすくらいガッツリ支援業務に取り組んでいる会員は少ない**。このままだと差別化が益々進む。再生支援として有効活用すべき。**凝り固まった考えを変えていき、経営改善計画にチャレンジ**して欲しい。1件でも多く取り組みれば**スキルアップ**出来る。相互で協力し合い利用申請を出して行きましょう。



パネルディスカッション

パネリスト	三重信用金庫 経営支援課	高峰 範也 様
パネリスト	三重信用保証協会 常務理事	上田 文也 様
パネリスト	三重信用保証協会 経営支援課 課長	山本 周輝 様
パネリスト	TKC中部会 7000プロジェクト三重県リーダー	平井 基也 様
コーディネーター	TKC中部会 7000プロジェクト推進リーダー	宮嶋 英治 様

参加者の声

- ・信頼性の高い決算書や試算表が入手でき、新たな金融サービスを検討できる。
- ・この仕組みで審査の効率化・審査期間の短縮が期待できる。
- ・TKC会員と連携し、既存の融資先へサービス強化や新規融資先開拓に繋げたい。

愛知県信用保証協会が創設した 認定支援税理士連携推進保証！

T連携保証！ 9月よりスタート！

顧問税理士と連携し、「カイゼン」に取り組む経営者に**低保証料率**で**無担保限度額**を**拡大**します。